

単位数	1 単位	学科・学年・学級	普通科 2 年 A～H 組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）

1 学習の到達目標

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。
 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第3単元 生涯を通じる健康	オリエンテーション	・「保健」学習の意義や内容、評価の方法を理解します。	授業態度 発問評価 考查 プリント 課題の内容
			1 ライフステージと健康	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	
			2 思春期と健康	・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	
	5		3 性意識と性行動の選択	・性意識の男女の差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	
			4 妊娠・出産と健康	・妊娠・出産の課程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子健康サービスの例をあげることができる。	
	6		5 避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	
			6 結婚生活と健康	・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	
	7		7 中高年期と健康	・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	
			期末考查		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9		8 働くことと健康	・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	授業態度 発問評価 考查 プリント 課題の内容
			9 労働災害と健康	・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。	
			10 健康的な職業生活	・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	
	10		1 大気汚染と健康	・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・待機にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。	
			2 水質汚濁、土壌汚染と健康	・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	

第2学期			3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 期末考査	・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみにと健康にかかわる課題を説明できる。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動 7 保健サービスとその活用	・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造業の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。 ・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。	授業態度 発問評価 考査 プリント 課題の内容
	2		8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用	・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。 ・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。	
	3		10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加 学年末考査	・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。	

3 評価の観点

知識・技術	現代社会と健康、安全な社会生活、について個人だけでなく社会生活について総合的に理解しようとするとともに、それらの内容に関わる技能を身に付けるようとしている。
思考・判断・表現	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見しようとしたり、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに、それらを他者に表現しようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身に付けようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度、の3観点から総合的に評価する。 考査は3回実施する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

「保健」という科目は「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週1時間行われます。健康に関する問題がテレビや新聞記事で大きく取り扱われる現状の中で正しい情報を取り入れ、適切な生活行動を選択することが求められています。自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事項を理解し、日常生活の中での課題を見つけ出し、解決の方法を導き出せる能力を身に付けてください
